



本町山の上通り(昭和 40 年代)



北洋サケマス漁独航船出漁(昭和 38 年ごろ)



幌泉港(現:えりも港湾、昭和 40 年代)



目黒市街(昭和 30 ~ 40 年代)



襟裳岬空撮(道々整備前、昭和 48 年以前)



小越港(現:えりも岬漁港、昭和 30 年代後半)



油駒(昭和 30 年代後半)



庶野漁港（昭和 40 年代）



国鉄幌泉駅（現：日高信用金庫えりも支店付近
昭和 30 年代後半）



コンブ増殖の投石（場所、時代不明）



国鉄バス幌泉駅(昭和 44 年)



国鉄バス車庫。映画「春の山脈」の看板が
見える(現：福祉センター付近、昭和 30 年代)



百人浜を走る国鉄バス（昭和 40 年代）



襟裳岬の駐車場(昭和 40 年代)



悲恋沼観光乗馬（昭和 50 年代）



ヒツジの放牧（昭和 30～40 年代）



襟裳岬観光(昭和 30 年代)



雪に埋まる道路(黄金道路、昭和 40 年代)



荷馬車（目黒、昭和 30 年代）



大雪災害(昭和 39 年)



チリ沖地震津波被害(庶野港：昭和 35 年)



昭和 40 年 1 月 9 日災害黄金道路



百人浜緑化事業（昭和 50 年代前半）



陸上競技会（昭和 30 年代）



スポーツ公園の造成（昭和 49 年）



日勝青年交歓スポーツ大会
（駅伝、昭和 40～50 年代）



本町シラヌマナイ川埋立（昭和 40 年）



運動会（昭和 50 年前後）



母と子の家（昭和 40 年）



アベヤキ川で（昭和 30 年代）



スケートリンク(コロップ、昭和 50 年代)



役場庁舎と消防車(昭和 40 年)



山の斜面でスキー(時代不明)



町名改称(昭和 45 年)



えりも中学校第 29 回卒業式(昭和 51 年)



教室の様子(昭和 40 年代後半)



旧役場の執務室(昭和 20 年代後半)



小越(現:襟裳岬、柳田旅館前
昭和 30 年前半、現郵便局前の通り)



郡内青年発表会（昭和 38 年）



幌泉カントリークラブ（昭和 35 年）
第一公営ホール地下



住吉神社祭典（昭和 32 年）



笛舞のグラウンドにて（昭和 30 年代）



幌泉町青年陸上大会（昭和 38 年）



大法寺前・光明寺裏からの展望（昭和30年代前半）



流水接岸（小越海岸、昭和36年3月）



襟裳岬（昭和30年代後半）



笛舞のお祭にて（昭和30年代）

あとがき

えりも昔語りを記録する会
会長 神子島清八

この町の住民として長い人生をどのように歩んでこられたのか、高齢者の人々を主体にその歴史や町の様子、暮らしぶりを聞いて後世に残したいとの思いから、町郷土資料館支援団体・北緯 42 度の会のメンバー 11 人を中心に、それを記録する会を立ち上げ、三年がかりで回顧談の聞き取りと編集に取り組んできました。

聞き取りの対象は大正から昭和 10 年代の人々で、戦後の昭和時代の半ばまでを主体に、居住地域や個人の経歴などを勘案のうえ、それぞれの人生経験について 60 名を超える方々に語って頂きました。幼少時、戦争への邁進と耐乏生活、敗戦と復員、食糧難の克服、戦後の発展など興味深い話題を多く聞き取ることができました。

お話し手の方々には、時間が消し去ろうとしている記憶の糸をたどってもらいながら、多彩なお話を語ってもらいましたが、長い歳月は、正確な年月など記憶の一部をあやふやなものに変えようとしています。さらに聞き手の不慣れから、心ならずもお話し手の意を体することができなかったかも知れません。しかし、それぞれの人達が生きた時代の断片を、曲がりなりにも伝えることができたものと思います。

さらに、昭和 45 年(1971)に町開基 90 年・町名変更記念事業の一環として発刊した「えりも町史」の編さん資料で、当時、町史編さんを担当した故藤井八郎氏が収録し、町郷土資料館が保存していた 31 人の回顧談も、この記録集に同時に収録させて頂きました。

聞き取りからすでに 40 年の歳月が過ぎ、すべての方々が鬼籍に入られておりますが、この記録集を挽歌として捧げ、ご冥福をお祈りしたいと思います。

私たちはともかくも、えりも町の庶民史としての貴重な証言を未来永劫に残すことができました。最後になりましたが、この記録集に掲載の写真や資料を提供頂いた多くの方々、さらに記録集の編集から印刷まで、裏方として奮闘して下さった町郷土資料館の中岡利泰係長と小林さおりさん、発刊の支援をいただいた小林強教育長ら町教育委員会の各位、えりも町役場の各位に感謝致します。

聞き手

神子島清八・新松隆・新松信子・小川悠紀弥・小川とく子・大平恵子
長岡菊也・長岡悦子・草野泰子・山科静子・中岡俊子・中岡利泰



庶野漁港

(昭和 40 年代)

この記録集は、えりも町、および北海道教育委員会平成18年度生涯学習推進事業（生涯学習振興奨励費補助金）生涯学習活動促進事業の助成を受け、印刷発行しました。

えりも昔語りを記録する会

神子島清八
新松隆
新松信子
長岡菊也
長岡悦子

小川悠紀弥
小川とく子
大平恵子
山科幸一
山科静子（題字）

草野一郎
草野泰子
中岡俊子
中岡利泰

本刊で使用している写真（所蔵者記入以外）は、えりも町およびえりも町郷土資料館所蔵のものです。

えりも昔語り記録集

潮風とともに

2007年（平成19年）3月31日 発行

発行 えりも昔語りを記録する会

編集監修 えりも町教育委員会

事務局 058-0203

北海道幌泉郡えりも町字新浜 207 番地

えりも町郷土資料館内

TEL&FAX : 01466-2-2410

E-mail : erimomus@cocoa.ocn.ne.jp

印刷